

事業の目的	再評価実施の理由	B/C (費用対効果)
<p>鳥屋野・万代・下所島排水区では、平成10年8月4日に時間最大97mm/hの豪雨を記録し、床上浸水299戸及び床下浸水1,659戸の被害が発生。その後も平成19,25,26年度に、新潟駅周辺地区において浸水や道路冠水が発生している。</p> <p>このため、今後整備予定のポンプ場が稼働するまで、雨水バイパス管渠を暫定的に貯留管として運用することで早期に浸水軽減を図るもの。</p>	<p>事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業であるため。また併せて、施工方法の変更等伴う全体事業費及び事業期間の変更、国土交通省が定める便益算出方法の変更に伴い、事業継続の妥当性について改めて意見を聴取するもの</p>	<p>1.09</p>

計画図、イメージ画像等

事業概要

- 事業内容
 - 雨水管渠
 - 内径 φ3500mm 延長 L=2,540m (今回変更) φ3500mm延長 L=2,360m
 - 内径 φ800mm~1500mm 延長 L=1,520m (今回変更) φ600mm~2200mm 延長 L=1,736m
 - 全体事業費: 約82億円 (今回変更) 約113億円
 - 事業期間 : 令和2年度~令和8年度 (今回変更) 令和2年度~令和10年度
 - 費用便益比: B/C=1.03 (今回変更) B/C= 1.09

位置図

The location map shows the project area within Niigata City, highlighting the Shinjyo River and the area around Niigata Station. It includes a detailed street map of the project site and a regional map of Niigata Prefecture.

事業効果

○ 平成10年8月4日豪雨と同規模の降雨(97mm/hr)において、機能保全水深20cm以下に浸水深を低下させる。

The map displays the planned pump station location (ポンプ場整備予定地) and the project area (計画対象区域). It shows the reduction in flood depth (浸水深) compared to the 1998 heavy rain event. A legend indicates that the planned 3500mm diameter pipe (red arrow) will reduce flood depths to approximately 20cm, while the existing 800-1500mm diameter pipes (green arrow) result in depths of 20cm or more. The target area is outlined with a dashed line.

浸水深	
黄色	~20cm
赤色	20cm~

〇対象降雨 97mm/hr(平成10年8月4日豪雨)
 〇時間最大雨量 50mm/hr

【今後の方針】	<p>必要に応じて新技術の有効利用などのコスト縮減を検討する。 雨水管渠整備(シールド工)は既に着工済みであるため、早期完成を目指して整備を進める。</p>	【評価】	継続
---------	--	------	----